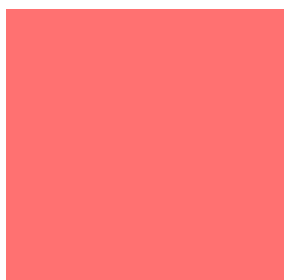




オリザ油化株式会社
CSR レポート
2022



『世界の人々の
健康と美を実現する』

(対象期間：2022年1月1日～12月31日)

ORYZA OIL & FAT CHEMICAL CO., LTD.

【目次】

01	企業理念・行動指針 P1
02	環境 P2
03	労働安全衛生 P8
04	労働環境 P12
05	持続可能な資材調達 P16
06	倫理・情報セキュリティ P19

オリザ油化株式会社

【企業理念】

『世界中の人々の健康と美を実現する。』

【行動指針】

1. 私たちは、自然の力を利用した健康づくりに、弛まずグローバルに挑戦し続けます。
1. 私たちは、人々の健康、幸せ、そして希望の実現を目指します。
1. 私たちは、一人ひとりが新たな知識や技術・技能の向上に努めます。
1. 私たちは、常にコンプライアンスを重視し、公正且つ誠実に業務を遂行します。
1. 私たちは、環境に配慮して、地域社会と融和に努めつつ、これからも社会に貢献し続けます。

オリザ油化株式会社
代表取締役社長 村井 弘道

【環境】

--- ◆ 環境方針 ◆ ---

私たちは、地球環境の保全が最重要課題の一つであることを認識し、事業活動の全般において、地球環境に配慮した環境活動を実施します。

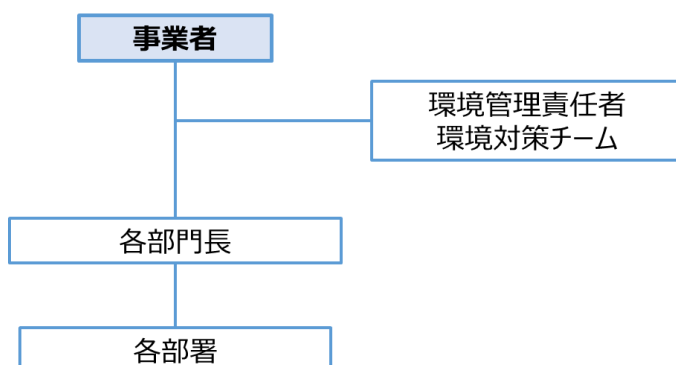
1. 当社のあらゆる業務において、環境汚染を防止し、環境目的・目標を定め、環境活動の継続的改善を行います。
2. 適用可能な環境関連の法律及び規制、協定等を遵守し、環境汚染の防止に努めます。
3. 事業活動を通じて、省資源・省エネルギーにより廃棄物・廃液の排出や電気の使用等の抑制に努め、循環型社会を形成するうえでグリーン購入を推進します。
4. 全従業員に環境教育を実施し、環境方針を周知・理解するとともに環境への意識と知識の向上を図ります。
5. 環境方針は開示し、一般の人が入手可能にします。

(2020年12月18日制定)

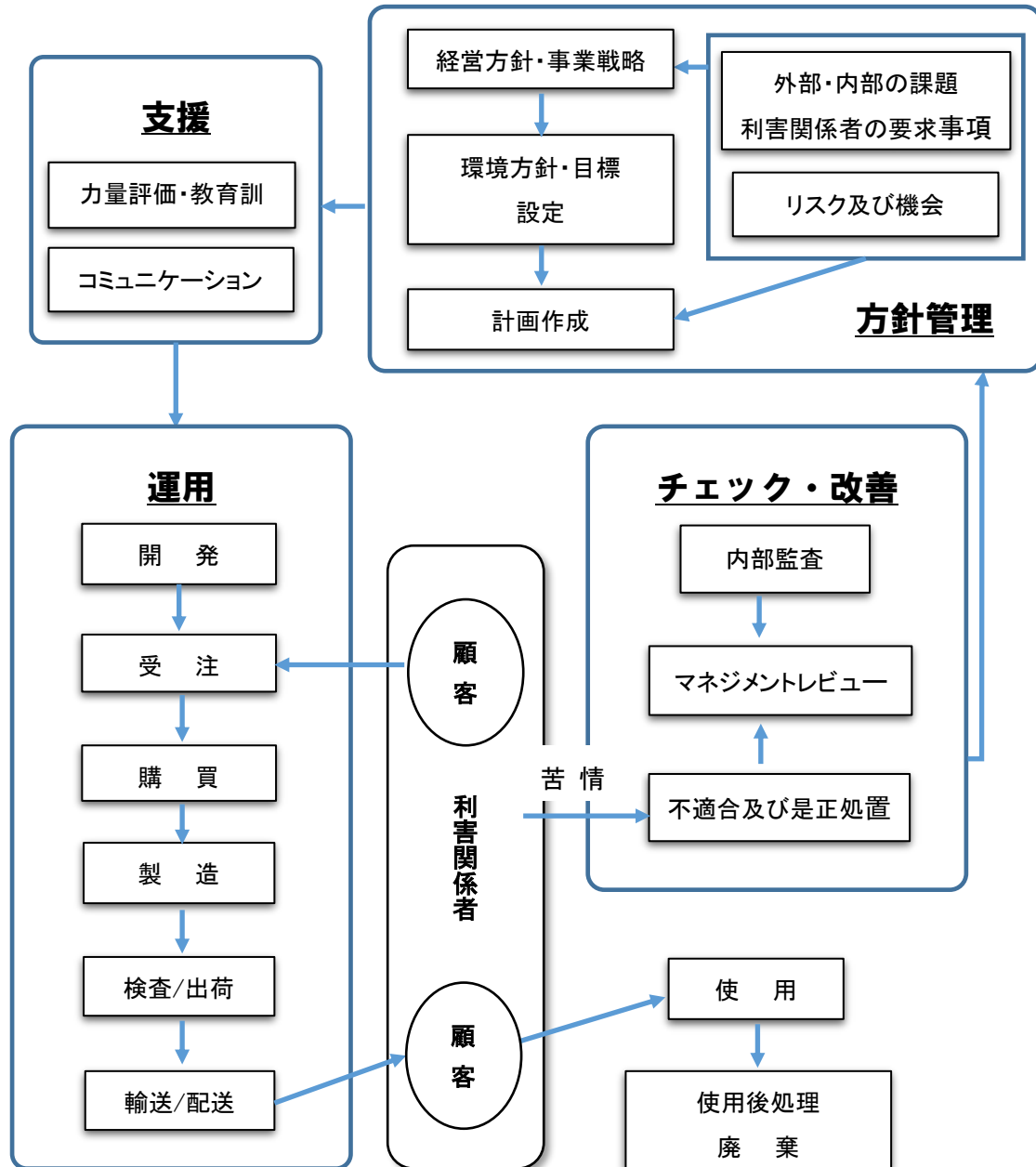
□ 環境管理体制

オリザ油化は、環境方針の徹底、環境目標の管理、教育・訓練、内部監査、是正処置、マネジメントレビュー等の実施により、環境マネジメントシステムの適切性、妥当性及び有効性を継続的に改善することで、環境パフォーマンスを向上させていきます。

◎ 環境管理責任者・環境対策チームの設置



◎プロセス概要



□環境への取り組み

オリザ油化では、地球環境に配慮した下記の環境活動を実施しています。

- ・食品業界の産業廃棄物を有効活用
 - ⇒ アップサイクリング原料採用： 29 製品
- ・米油抽出残渣(脱脂コメヌカ)を飼料・肥料化
- ・ISO14001 実行委員会による ISO14001 取得に向けての準備
- ・SDG s・CSR 委員会の開催 (年 4 回)
- ・排水計量 (外部分析：月 1 回、自社分析：毎日)
- ・ばいじん、窒素酸化物計量 (年 1 回)
- ・周辺地域の清掃活動 (月 1 回)
- ・システム化の推進、電子印の採用 (開発部・品質保証部：2021 年 7 月～)
 - ⇒ 紙使用量の削減
- ・資源回収
 - ⇒ 段ボール (月 2 回) ・ 紙類 (隔年)
- ・クールビズ・ウォームビズの推進・冷暖房の推奨温度設定
- ・資材、社内備品の見直し、環境配慮品への切り替え
 - ⇒ 紙、プラスチック使用量の削減
- ・設備更新による省エネ活動
 - ⇒ 米油製造設備の 1 つである脱臭装置の更新 (2022 年 9 月完了)
 - ⇒ 熱風乾燥機の更新 (2022 年 9 月完了)
 - ⇒ LED 照明への切り替え (2022 年 10 月現在、全体の 3/4 完了)



↑新脱臭棟



←清掃活動(水路)

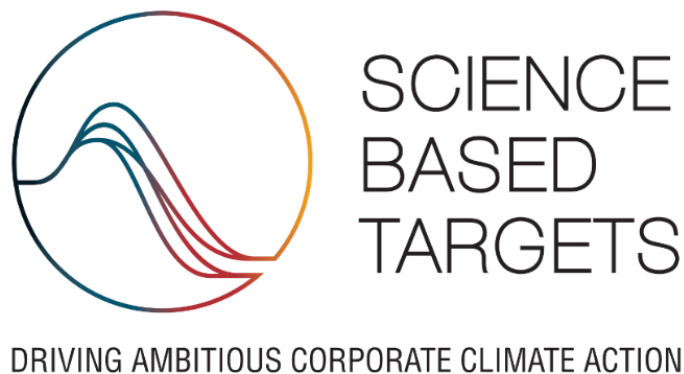


←清掃活動(除草)

中小企業向け **SBT「1.5℃目標」認定**を取得！(2022年9月)

■ Science Based Targets (SBT) について

Science Based Targets は、パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より 2℃を十分に下回る水準(Well Below 2℃)に抑え、また 1.5℃に抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として各企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことで、SBT は国連グローバル・コンパクト(UNGC)・カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)・世界資源研究所(WRI)・世界自然保護基金(WWF)の4つの機関による共同イニシアチブ(SBTi)によって認定されます。



□オリザ油化 CO₂ 排出量削減目標

Scope	基準年	目標年	単位	概要
1+2	2021年	2030年	総量	1.5℃水準

目標達成に向け、全社員一丸となって取り組んで参ります！

□環境パフォーマンスデータ

オリザ油化では、事業活動における環境負荷の把握を行い、環境配慮への意識を高め、省資源・省エネルギー化に取り組んでいます。

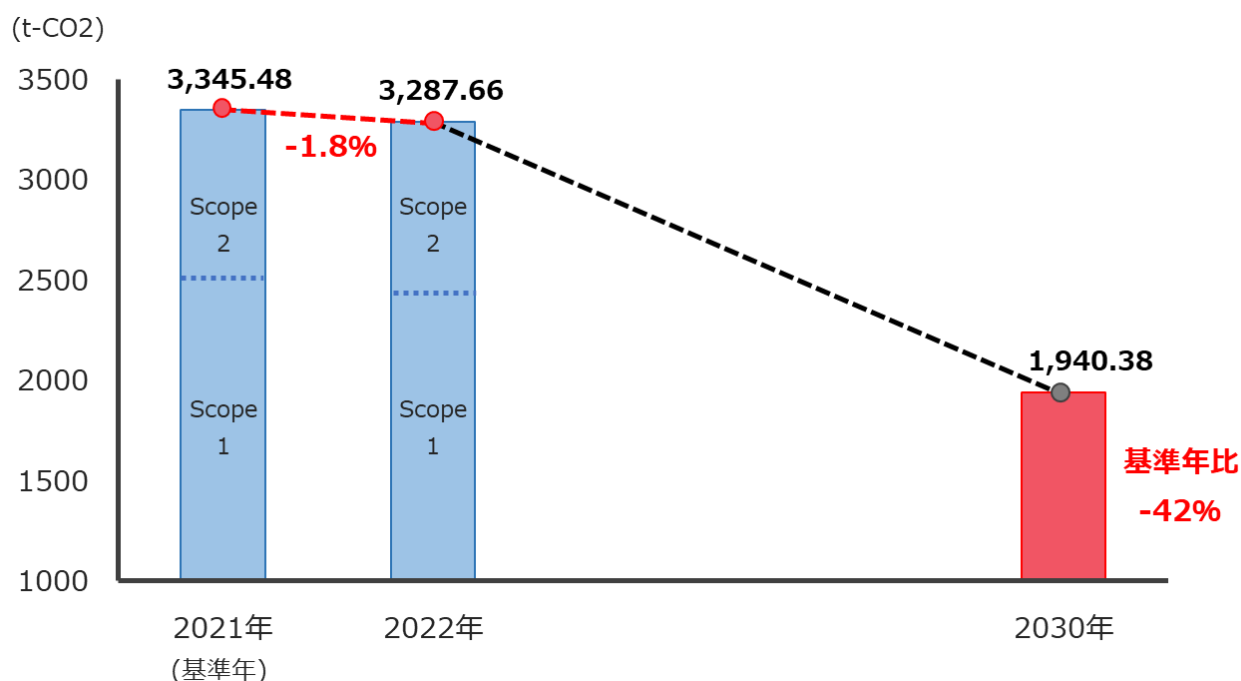
◎CO₂排出量

スコープ	2021年	2022年	前年度からの削減量(t-CO ₂)
スコープ1 排出量(t-CO ₂)	2,516.57	2,439.66	76.91
スコープ2 排出量(t-CO ₂)	828.91	848.00	19.09 増加
合計(t-CO ₂)	3,345.48	3,287.66	57.82

【算定範囲】

組 織 的 範 囲	<p>【算定対象：2事業所】 オリザ油化(株) 本社（一宮市）工場／東京事務所 【関連会社（連結対象事業者）】 (株)アルゴス／子会社 本社（一宮市） 【算定対象外】 ORYZA(THAILAND)CO.,LTD. タイ事務所</p>
-----------	---

【年別 CO₂ 排出量と削減率（スコープ 1+スコープ 2 の合計）】



◎電力使用量

	2021年	2022年	前年度からの削減量(MWh)
電力使用量(MWh)	2,185.52	2,235.81	50.29 増加

電力使用量増加の理由：食用油脂の製造量が前年より、約 1.2 倍増加したため。

◎水使用量（井水）

	2020年	2021年	前年度からの削減量
水使用量(m3)	158,810	148,024	10,786

◎産業廃棄物量

	2021年	2022年	前年度からの削減量(kg)
産業廃棄物(kg)	369,727	360,734	8,993
内)再利用・再生利用量(kg)	346,797	330,724	-
再利用・再生利用率(%)	93.8	91.7	-

◎資源回収量

	2021年	2022年
紙回収量(kg)	4,480	-

□資材、社内備品の見直し、環境配慮品への切り替え(一例)

- ・米油の一部製品でエコ包材を採用(油脂課・営業部：2021年11月～)
- ・官能検査用プラスチックスプーンを紙スプーンへ切り替え(品質管理課：2022年5月～)
⇒ プラスチック使用量の削減
- ・コピー用紙を PEFC 認証品へ切り替え(本社：2022年4月～)

※PEFC 森林認証プログラムは、国際的な森林認証制度の一つです。

【労働安全衛生】

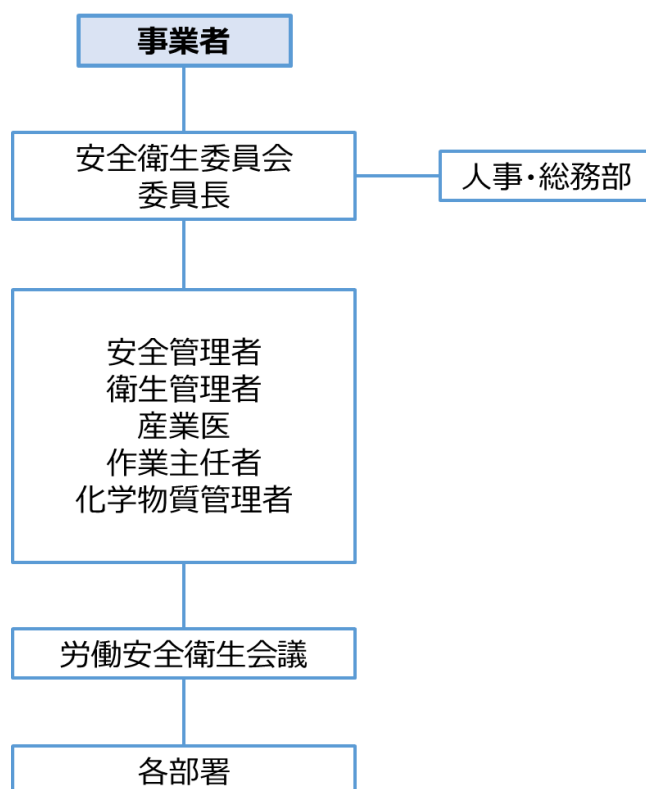
--- ◆労働安全衛生方針◆ -----

私たちは、全ての従業員の安全と心身の健康が会社にとっての最重要基盤であることを認識し、事業活動の全般における全ての従業員の安全衛生、及び心身の健康増進活動に取り組めます。

1. 労働安全衛生法、及びその関連法規、社内規定を遵守し、全ての従業員の危険、健康障害を防止します。
2. リスクアセスメントを実施することにより、労働災害の要因や予防策を把握し、「労働災害ゼロ」を目指します。
3. 社内のコミュニケーションの活性化・円滑化を図り、全ての従業員の心身の健康維持、及び増進を積極的に支援します。

(2022年9月30日制定)

□労働安全衛生、健康維持・増進の体制



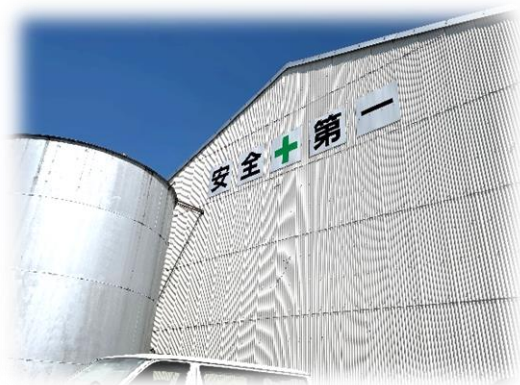
□安全衛生の取り組み

オリザ油化では、労働災害ゼロを目標に下記の取り組みを実施し、労働災害の予防・意識向上に努めております。

- ・労働安全衛生会議（安全衛生委員会、毎月1回）
- ・KYT(危険予知トレーニング)活動（各部署、毎月1回）
- ・5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)活動（全体報告会、毎月1回）
- ・リスクアセスメントの実施(溶剤、試薬使用部署、年1回)
- ・設備・機器の点検、及び校正
- ・保護具(腰)の導入
- ・災害事例の周知(水平展開)
- ・食中毒の対応策(水平展開)
- ・熱中症の対策策(水平展開)
- ・防災訓練(工場：年1回、事務所棟：年1回)



↑アース環境サービス株式会社様 定例報告会・勉強会（月1回開催）



↑工場外観



↑防災訓練

□労働災害発生状況

2022年の労働災害発生状況は、休業災害件数は0件でした。

今後もリスクアセスメントの実施や、KYT活動、5S活動を通して、労働災害の発生を予防していきます。

<件数>

	休業災害(件)	計(件)
2022年	0	0

<比率>

	労働災害度数率	労働災害強度率
2022年	0	0

【用語説明】

◎「労働災害」とは、労働者が業務遂行中に業務に起因して受けた業務上の災害のことで、業務上の負傷、業務上の疾病（休業1日以上及び身体の一部または機能を失うもの。）及び死亡をいう。ただし業務上の疾病であっても、遅発性のもの（疾病の発生が、事故、災害などの突発的なものによるものでなく緩慢に進行して発生した疾病。例えば、じん肺、鉛中毒症、振動障害など。）及び食中毒、伝染病は除く。（通勤災害による負傷、疾病及び死亡は除く。）

◎労働災害の状況は次の労働災害率（度数率及び強度率）並びに労働損失日数で表す。

・「度数率」とは、100万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表す。

算出方法
$$\frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延実労働時間数}} \times 1,000,000$$

（注）同一人が2回以上被災した場合には、死傷者数はその被災回数として算出する。

・「強度率」とは、1,000延実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す。

算出方法
$$\frac{\text{延労働損失日数}}{\text{延実労働時間数}} \times 1,000$$
 （延労働損失日数の算出方法の記載省略）

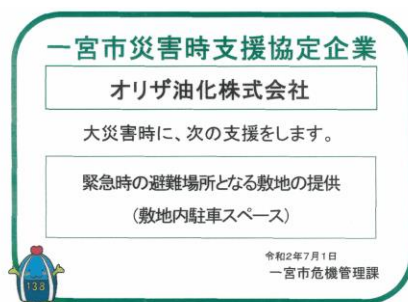
□従業員の健康維持・増進の取り組み

オリザ油化では、全ての従業員の心身の健康維持、及び増進を積極的に支援する活動を行っています。

- ・健康診断(全従業員対象、毎年1回)
- ・特殊健康診断(有機溶剤取扱者、毎年1回)
- ・保健士、栄養士による保健指導
- ・人間ドック助成制度
- ・インフルエンザ予防接種助成制度
- ・感染症対策の非接触型体温測定器の社内設置
- ・健康チェック(全社員、毎朝)
- ・ストレスチェック(全従業員、毎年1回)
- ・時間外労働の管理(申請・指示承認・上限規制管理)
- ・時短勤務・テレワーク勤務の体制確立
- ・メンタルヘルス相談窓口の設置(人事・総務部)
- ・メンタル不調者の発生予防、休養・休職時の復帰支援
- ・人事・総務部・各部署上長による個別面談の実施

◎外部認定

- ・「一宮市災害時支援協定企業」認定
- ・「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動賛同事業所」認定
- ・「健康宣言チャレンジ事業所」認定



【労働環境】

--- ◆労働環境方針◆ -----

私たちは、全ての従業員の仕事と生活の調和を推進し、働きやすい職場環境の整備と向上に努めるとともに、やりがい、及び個々の能力開発を積極的に支援します。

1. 性別、年齢、国籍の差別を排除し、全ての従業員が働きやすい環境の整備、向上に取り組めます。
2. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進します。
3. 人材教育の環境を整え、能力開発を積極的に支援することで、グローバルな人材育成を目指します。
4. ハラスメント行為(パワーハラスメント、マタニティハラスメント、育児・介護に関するハラスメント、セクシャルハラスメント、その他ハラスメント)を断じて許さず、安全で快適な職場環境づくりに取り組めます。

(2022年9月30日制定)

----- 全従業員が働きやすい環境の整備、向上の取り組み

オリザ油化では、労働環境を整えるという事業者の義務を果たすため、ワーク・ライフ・バランスを推進し、従業員の満足度が高まるよう、労働環境の整備、向上に努めています。

- ・国籍を問わない雇用制度
- ・産前・産後休業、育児休業、育児・看護休暇制度、および復帰支援体制の確立
- ・女性社員の活躍支援
- ・時短勤務、テレワーク勤務制度
- ・定年後の再雇用制度
- ・有給休暇付与制度、および特別休暇付与制度
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・教育・研修の実施、及び支援体制
- ・各種ハラスメント行為の防止体制(研修・水平展開)・社内ホットラインの開設

・福利厚生 of 充実

(各種社会保険、職場 iDeCo・つみたて NISA の奨励金制度、財形貯蓄退職金制度、従業員持株制度、各種クラブ活動、社員旅行 (海外中心)、ゴルフ場、その他優待施設、等)

□海外人材の採用実績

職種	人数	国	勤務地
営業	4名 (男1、女3)	中国、マレーシア	本社
研究開発	4名 (男3、女1)	中国、ミャンマー	本社
品質保証	1名 (女1)	シンガポール	本社
製造	2名 (男1、女1)	フィリピン (日本永住者)	本社

□人材関連データ

職種	2021年	2022年
社員数 ※4月1日付 (非正規雇用含む)	106名 (男性70、女性36)	110名 (男性68、女性42)
新卒採用数	1名 (男性0、女性1)	4名 (男性0、女性4)
女性役職者数 (主任以上)	13名	14名
時間外労働 月平均	16時間50分	16時間50分
有給休暇取得率 (取得率の平均)	58%	60%
育児休業取得率	100%	100%
定年後再雇用率	100%	100%

□人材教育の取り組み

オリザ油化は、人材教育の環境を整え、従業員一人一人の能力開発を積極的に支援しています。1-3年目を若手社員の重点教育期間とし、社会人としての基礎から業界の知識までを学べる研修、管理職(幹部候補含む)・中間管理職のマネジメント研修等の階層別研修を設けています。また、個人の能力開発では、学会・セミナーへの参加や、資格取得の支援にも力をいれており、研究開発人材の育成として、博士号取得の支援も行っております。

	階級別研修 (キャリア形成)	能力開発			福利厚生 セミナー
		部門教育	自己啓発	全体教育	
管理職		各部門専門教育(セミナー・講習会・学会等)	資格取得支援 通信教育・語学	労働安全・衛生管理・ISO・GMP SDGs・SBT	資産形成セミナー等
中間管理職	マネジメント研修				
中堅・新入社員	3年目研修 2年目研修 OJT研修・ 新入社員研修 (1年目研修)				

◇中間管理職
キャリアアップ重点教育期間

◇入社1-3年目
若手社員重点教育期間

□従業員 1 人あたりの平均教育・研修時間

2022年度の従業員 1 人あたりの平均教育・研修時間は【 20.1 】時間となり、昨年より 19.6%増加しました。

今後もグローバルに活躍できる人材育成の支援を積極的に行っていきます。

	2021年	2022年	増減率
1人あたりの平均 教育・研修時間	16.8時間	20.1時間	+19.6%

□従業員 保有資格の種類

薬剤師、食品衛生管理者、食品衛生監視員、管理栄養士、食品アドバイザー、食品表示検定、機能性表示食品検定(上級)、サプリメントアドバイザー、フードコーディネーター、HACCP 管理者、日本化粧品検定 1 級、品質管理検定、自主保全士、衛生管理者、危険物取扱者、有機溶剤作業主任者、特定化学物質作業主任者、乾燥設備作業主任者、アーク溶接技能、ボイラー技士、地下タンク点検技能、電気主任技術者 3 種、電気工事士、知的財産管理技能士、宅地建物取引士、JAS 格付担当者、JAS 品質管理担当者、浄化槽管理士、公害防止管理者、フォークリフト技能、貿易実務検定、高等学校教員免許、秘書技能検定、ホームヘルパー 2 級、他

◎外部認定

- ・「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動賛同事業所」認定
- ・「健康宣言チャレンジ事業所」認定



【持続可能な資材調達】

-- ◆ サステイナブル調達方針 ◆ -----

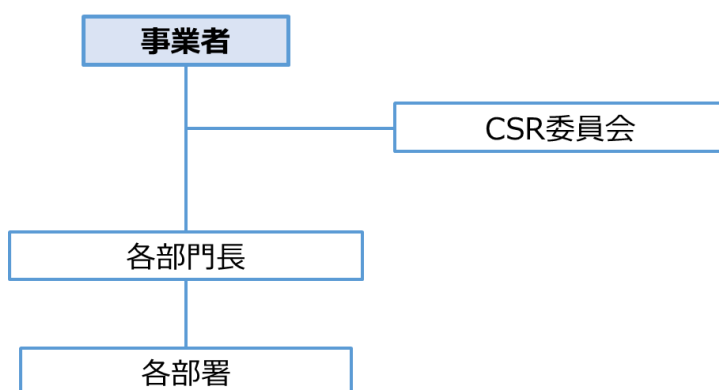
私たちは、国内外の法律を遵守し、環境や社会への影響に配慮した資材調達を行います。

1. 原料調達や、サプライチェーンにおける児童労働・強制労働を排除するために、サプライヤーへの調査を実施し、改善に取り組みます。
2. 食品産業で廃棄物となる原料を有効活用することで、環境に配慮した製品を開発・提供していきます。
3. 製品の安定的な供給に努めるとともに、求められる品質の維持、およびサービスの品質向上に努めます。
4. 社内で使用する備品において、環境に配慮した製品を検討、選択していきます。

(2022年9月30日制定)

□ サステイナブル調達体制

オリザ油化は、サプライチェーン全体での社会的責任ある調達活動が重要であると考え、サステイナブル調達方針を実行するために CSR 委員会を設置し、運営しています。



□サステナブル調達への取り組み

オリザ油化では、環境や社会への影響に配慮した資材調達、製品開発を実施しています。

- ・SDG s・CSR 委員会の開催（年 4 回）
- ・サプライヤー向けに CSR 活動の調査を実施（一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの「CSR 調達 セルフ・アセスメント質問表」を活用）
 - ⇒ アンケートの集計、分析、改善依頼を実施
- ・食品業界の産業廃棄物を有効活用
 - ⇒ アップサイクリング原料採用：29 製品
- ・米油抽出残渣(脱脂コメヌカ)を飼料・肥料化
- ・オーガニック認証取得原料を一部製品にて使用
- ・Bonsucro 認証(サトウキビの生産基準認証)取得原料(製品)を一部製品にて使用
- ・ECOCERT 認証(Raw material)、COSMOS(Approved)認証を一部製品にて取得
- ・ISO 16128 に基づき、化粧品の自然及びオーガニックに係る指数の算出
- ・製品品質、サービス品質の維持・向上のため、ISO22000：2018(食品安全マネジメントシステム)、健康食品 GMP、ISO22716 の認証取得・運営、および HACCP による衛生管理の実施
- ・製品品質・サービス向上：HALAL 認証取得 159 製品
 - ：機能性表示食品届出受理数 11 素材 17 ヘルスクリーム
 - ：顧客満足度アンケートの実施
- ・製品の安定的な供給のため、BCP 計画の策定
- ・寄付活動
 - ⇒ 紫茶製品の売上の一部を、子どもの権利を推進し貧困や差別のない社会を実現するために活動する国際 NGO プラン・インターナショナルへ寄付
- ・地域社会への貢献活動
 - ⇒ 一宮市地域貢献企業認定の取得（活動分野：商工業振興、まちづくり・地域づくり）
 - 一宮市災害時支援協定企業
- ・資材、社内備品の見直し、環境配慮品への切り替え
 - ⇒ 紙、プラスチック使用量の削減



↑一宮市災害時支援協定企業

↑紫茶 / 国際 NGO プラン・インターナショナルへ寄付

□ 資材、社内備品の見直し、環境配慮品への切り替え（一例）

- ・米油の一部製品でエコ包材を採用（油脂課・営業部：2021年11月～）
- ・官能検査用プラスチックスプーンを紙スプーンへ切り替え（品質管理課：2022年5月～）
⇒ プラスチック使用量の削減
- ・コピー用紙を PEFC 認証品へ切り替え（本社：2022年4月～）

※PEFC 森林認証プログラムは、国際的な森林認証制度の一つです。

◎ 外部認定

- ・ISO22000(食品安全マネジメントシステム)
- ・健康食品 GMP
- ・ISO22716(化粧品 GMP)
- ・HALAL 認証
- ・ECOCERT 認証(Raw material)、COSMOS(Approved)認証
- ・一宮市地域貢献企業認定



※一部取り組みの詳細を HP に記載しております。

<https://www.oryza.co.jp/company/sdgs/>

【倫理・情報セキュリティ】

-- ◆ 倫理・情報セキュリティ方針 ◆ -----

私たちは、贈収賄・腐敗行為防止、及び情報セキュリティに対する取り組みを強化し、公正かつ倫理観をもって事業活動を行います。

1. 贈収賄、腐敗行為を断じて許さず、これらに関する法令を遵守します。
2. 反社会的勢力の排除に関する法令を遵守します。
3. 会社に属する企業秘密の取り扱い、第三者の営業秘密、および知的財産権の取り扱い等について、従業員への周知を徹底し、情報セキュリティの維持・向上に努めます。
4. 災害発生時の被害を最小限に抑えるために、従業員への教育・訓練を実施します。

(2022年9月30日制定)

□ 倫理・情報セキュリティの取り組み

オリザ油化では、各国・各種法令を遵守し、誠実かつ公正な企業活動を行うために、下記の取り組みを行っています。

- ・コンプライアンス研修（社内）
- ・特許・知的財産権研修（社内）
- ・各国・各種法令講習会への参加
- ・各種関連団体への参加（例：中部化粧品工業会、化粧品公正取引協議会 等）
- ・サプライヤー向けに CSR 活動の調査を実施(一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの「CSR 調達 セルフ・アセスメント質問表」を活用)
 - ⇒ アンケートの集計、分析、改善依頼を実施
- ・情報セキュリティ委員会の設置
- ・各種ハラスメント行為の防止体制(研修・水平展開)・社内ホットラインの開設



オリザ油化は、健康に役立つ機能性をもつ

食品・化粧品素材の開発をめざしています。

多品種の機能性素材を生産し、多くの情報を
有しております。

お気軽にお問い合わせください。

オリザ油化株式会社

本社

〒493-8001 愛知県一宮市北方町沼田 1 番地

TEL: (0586)86-5141(代表) FAX: (0586)86-6191

E-mail: info@oryza.co.jp

URL: <https://www.oryza.co.jp/>

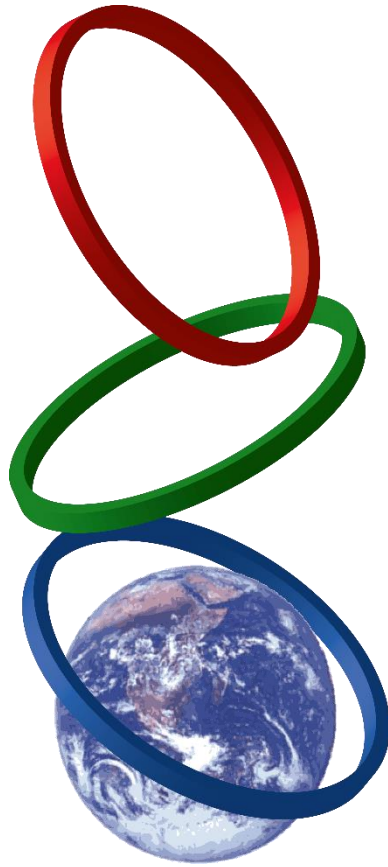
東京営業所

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-5 デiamondビル 5F

TEL: (03)5209-9150 FAX: (03)5209-9151

E-mail: tokyo@oryza.co.jp

発行日 : 2023 年 3 月 30 日



ORYZA OIL & FAT CHEMICAL CO., LTD.